

草千里

草千里は、烏帽子岳の側面にある 78 万 5000 平方メートルの緑豊かな草原で、阿蘇を象徴する場所のひとつです。火山噴火によって約 3 万年前に形成されたこの火口内には、さらにもうひとつ、より年代が浅い火口があり、そこに雨水が溜まって二つの池になっています。これらの二つの池の間にある駒立山という小山は、比較的最近の噴火によってできました。時折、東にある中岳という活火山から噴煙が上っているのが見えます。

阿蘇の草原を維持するために、家畜が利用されています。草千里は昔から牛と馬の放牧地としての役割を担ってきました。ここを訪れる人は、馬に乗って草原を散策することができます。

近くにある阿蘇火山博物館では、草千里と阿蘇の成り立ちについてより深く知ることができます。

烏帽子岳

阿蘇五岳の一つである烏帽子岳は、草千里の草原にそびえ立つ海拔 1,337 メートルの火山です。

山頂まで続くトレッキングコースが複数あり、山頂からは、中岳、高岳、杵島岳、往生岳、カルデラの南壁、さらに遠くの久住連山を望む素晴らしい景色が楽しめます。

烏帽子岳の急勾配の南東斜面には、カヤ、イワカガミ、ヤマラッキョウ、リンドウ、そして春に山をピンクと紫に染めるミヤマキリシマツツジなど、さまざまな木や草花が生育しています。